

第18回 日本視機能看護学会会員情報交換会報告

■テーマ：

眼科における医療安全管理対策について
～左右間違いおよび薬剤アレルギーに対する対策について～

■日時：2023年9月30日（土）14：00～15：00

■参加人数：13施設18名（日本視機能看護学会役員含む）



今回は、事前に参加施設の方にそれぞれ上記のテーマについて実践されている医療安全対策をご提示いただき、当日参加の皆様と共有しながら、意見交換をすすめていきました。

左右間違いについては、類似した対策も多かったのですが、それぞれの施設の環境や運用の違いを踏まえた対策についてと、その根拠についてもご説明頂いたため、参加の皆様の自施設の対策の継続の確信にもつながったというご意見をいただきました。

基本的には手術や処置の患者さんについては、患者さんのご認識も合わせて左右確認を口頭で答えて頂く事、患者さんの氏名や術眼などを明記したものをつけて頂く施設や、実際の治療の際にはそれぞれの自施設の運用を考慮し、身体の箇所にマーキングするという方法など左右間違いを回避しておられしておられました。外来での診察前の散瞳などについては、どのように確認していくかの手順を決めて励行していき、この場面では別途や椅子の後ろの頭上に左右を明記するなどの工夫をされており、外来についてはそれぞれの施設環境の違いが大きいため、自施設で情報交換でのご意見を持ち帰って検討していく事になると思います。眼科診療の忙しい場面ですので、それぞれの施設でこれまでのインシデントをもとに看護師の視点で工夫をされているところも多く、課題としては連携という点でも医師も含めた医療安全対策をすすめていく事などもご意見頂きました。

アレルギー対策については、事前問診、薬剤師との連携などどのように共有していくかがカギとなり、患者自身の認識への働きかけも重要であると感じました。

今回の医療安全対策では上記のテーマについて意見交換会を企画いたしましたが、医療安全対策については、多くの課題があるかと思しますので、今後とも会員の皆様からのご意見を参考にして来年度も企画していきたいと思っております。

